

大学院副専攻プログラム／大学院等高度副プログラムについて

副専攻プログラム／高度副プログラムとは、主専攻の学修と並行して、自分の専攻に関連する、あるいはそれ以外の内容を【体系的】に学ぶことにより【複眼的視野】と【学際的・俯瞰的な視点】を獲得する、主に大学院生向けのプログラムです。

【オンライン合同ガイダンス】

3月25日（金）から、オンラインガイダンスのサイトを開設します。

<URL> <http://osku.jp/x0299>



【令和4年度春学期 プログラム申請期間】 ※KOAN 申請の場合（プログラム一覧表参照）

4月8日（金）15時 ～ 4月18日（月）13時

KOAN  →  → 

<https://koan.osaka-u.ac.jp/>
から行ってください。

※プログラム申請後、引き続き履修登録を行ってください。

【プログラムに係る授業科目の履修登録期間】

<所属研究科が開講している授業科目>：所属研究科が定めた登録期間

<上記以外が開講している授業科目>：プログラム申請期間と同一

【プログラム数 ※令和4年3月現在】

■副専攻プログラム：19プログラム

■高度副プログラム：40プログラム

【各プログラムに係る URL】

<http://osku.jp/p0646>

※3月下旬 更新予定



【プログラムに関する全般的な問い合わせ先】

大阪大学 全学教育推進機構等事務部 横断教育係

<email> zenkyo-odankyoiku@office.osaka-u.ac.jp

<Tel> 06-6850-6214

令和4年度_春学期申請_大学院副専攻プログラム/大学院等高度副プログラム一覧表

プログラム区分名	プログラム名	履修対象者	申請方法
副専攻プログラム	トランスカルチャーの技法	M・D	
	量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム	M	
	グローバルリーダーシップ・プログラム	M	
	金融・保険	M・D	
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士前期課程高度学際教育副専攻プログラム)	M	
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程副専攻プログラム)	D	
	知的財産法を修得した人材育成	M・D	
	アーキビスト養成・アーカイブズ学研究プログラム	M	
高度副プログラム	グローバル・ジャパン・スタディーズ	M・D	KOAN
	グローバルヒストリー	M・D	
	デジタルヒューマニティーズ:分析方法論と実践	M・D	
	世界の言語文化とグローバルイゼーション	M・D	
	言語学	M・D	
	グローバル地域研究	M・D	
	大学マネジメント力養成・向上プログラム	M・D	
	ユネスコチェア「グローバル時代の健康と教育～健康のための社会デザイン～」	B5.6・M・D	
	日本におけるマイノリティ教育の理論と実践	M・D	
	基礎理学計測学	M・D	
	健康医療問題解決能力の涵養	M・D	
	スポーツ医科学研究プログラム	M・D	
	健康・医療イノベーションプログラム	M・D	
	医学倫理・研究ガバナンスプログラム	M・D	
	死因究明学に根ざした法医学者・法歯学者養成プログラム	D	
	高度がん医療人材育成プログラム	M・D	
	安全なデータ利活用のためのセキュリティ人材育成プログラム	M・D	
	科学技術をイノベーションにつなぐために	M・D	
	高度溶接技術者プログラム	M・D	
	DSデータ科学	M・D	
	グローバルリーダーシップ・プログラム	M	
	感染症学免疫学融合プログラム	D	
	インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践	M・D	
	予測社会医学プロフェッショナル育成	M・D	
	メディカルデバイスデザイン	M・D	
	バイオメディカルインフォマティクス	M・D	
	バイオマテリアル学	M・D	
	データ科学	M・D	
	数理モデル	M・D	
	トランスカルチャーの技法	B5.6・M・D	
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士前期課程高度学際教育)	M	
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程教育研究訓練プログラム)	D	
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程社会人特別選抜)	D	
	知的財産法を修得した人材育成	M・D	
	放射線科学	M・D	
	未来の大学教員養成プログラム	M・D	
公共圏における科学技術政策	M・D		
社会の臨床	B5.6・M・D		
副専攻プログラム	未来共生プログラム	M・D	別途申請 ※
	超域イノベーション副専攻プログラム	M・D	
	公共圏における科学技術政策	M・D	
	公共圏における科学技術政策・研究プロジェクト+	D	
	人文学(グローバル・アジア・スタディーズ)(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	M	
	人文学(グローバル・ユーロ・スタディーズ)(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	M	
	言語文化学(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	M	
	人間科学(共生の生態)(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	M	
	法学・政治学(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	M	
	経済学・経営学(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	M	
	国際公共政策学(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)	M	
高度副プログラム	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(後期課程社会人ナノ理工学特別コース)	D	
	超域イノベーション高度副プログラム	M・D	

※春学期募集の有無や申請方法については「KOAN→副専攻・高度副プログラム→プログラム申請→プログラムの申請手続き ※3月下旬更新予定」でプログラムを検索し、詳細を確認するか、各プログラムが発行する冊子やWebサイトを参照してください。

■KOANの操作方法について

KOANの「プログラム申請」システムで申請受付を行うプログラムの場合、操作方法は以下のとおりです。なお、「プログラム申請」システム以外の方法で申請受付を行うプログラムもありますので、「プログラム申請」のプログラム詳細画面や各プログラムが発行する案内冊子、ホームページ等で確認してください。

1.<ログイン>

KOANにログインし、 から「プログラム申請」に入る。

2.<興味のあるプログラムを選択>

AまたはBをクリックして、検索を行い、興味のあるプログラムを選択する。



一覧からプログラムを選択します。

A 全プログラムの一覧を表示する

B プログラムを検索する

内容や構成科目からプログラムを検索します。

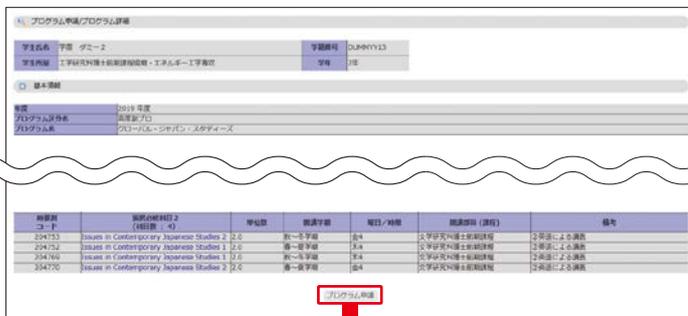
3.<プログラムの内容を確認し、受講申請>

プログラムの詳細画面の最下部にある「プログラム申請」ボタンをクリックしてください。

その後、4.<プログラム科目の履修登録>を行ってください。

4.<プログラム科目の履修登録>

あなたの時間割とプログラムの時間割を見比べながら履修登録することが可能です。



プログラム申請期間中はいつでも申請の取消が可能です。



あなたの時間割

プログラムの時間割

構成科目一覧

クリックして履修登録すると「あなたの時間割」に反映されます。

【Q.1】プログラムを受講するには、どうすればよいですか？

【A.1】「プログラム申請」と「プログラム構成科目の履修登録」の、両方が必要です。「プログラム申請」については、オンライン合同ガイダンス_総合案内に掲載している「プログラム申請方法」の枠（カード）を確認してください。また、「プログラム構成科目の履修登録」については、【Q.3】を確認してください。

【Q.2】複数のプログラムを受講することは可能ですか？

【A.2】はい、可能です。また、複数のプログラムを同時並行して受講することも出来ます。ご自身の授業計画や研究計画と相談しながら、ぜひ積極的に受講してください。

【Q.3】プログラム構成科目の履修登録はどうすればよいですか？

【A.3】通常の授業科目の履修登録方法と同様です。基本はKOANで登録することになりますが、科目によって違う場合があります。詳しくはシラバスやKOAN掲示を確認してください。

【Q.4】プログラム構成科目の履修登録期間は、所属研究科の履修登録期間と同一ですか？

【A.4】<所属研究科が開講している授業科目>と、<それ以外の部局が開講している授業科目>で、異なる場合があります。詳しくはKOAN掲示や所属研究科の教務担当係に確認してください。

【Q.5】プログラム構成科目に、他研究科の授業科目があります。履修してもよいのでしょうか？

【A.5】ぜひ積極的に履修してください。幅広い分野の素養を体系的に身につけることで複眼的視野を獲得できることが、このプログラム最大のメリットです。

【Q.6】時間割コードが異なる授業科目でも、科目名が同じであれば、プログラム構成科目になりますか？

【A.6】構成科目として認められない可能性があります。詳しくはプログラム実施部局に確認してください。

【Q.7】プログラムを修了するためには、プログラムを申請した年度内に修了要件を満たす必要があるのでしょうか？

【A.7】プログラム修了に掛かる期間はプログラム毎で違ってまいりますので、各プログラムの情報をご確認いただくか、もしくはプログラムの問い合わせ先にお問い合わせ願います。

【Q.8】現在所属している課程を6月に修了することになりました。それでも、プログラムの修了要件を満たせば、プログラムを修了することはできますか？

【A.8】できます。ただし、必ず<事前>に、プログラム実施部局にお知らせください。修了認定証の交付は、原則「3月末」もしくは「9月末」に行われますので、それ以外の時期に課程修了や退学をする場合は、プログラム実施部局にお知らせください。

【Q.9】プログラムの履修には、費用が掛かりますか？

【A.9】プログラムを履修することに対しては、特別な費用は掛かりません。ただし、プログラム構成科目によっては、受講の際に交通費などの実費が掛かることがあります。